

ウーマン・イン・スポーツ

各紙掲載記事より

93年10月〜12月

●93年10/4(朝日) 十八歳で夢を実現 カナダのハミルトンで行なわれた第八回世界女子柔道選手権大会で、田村亮子が四十八キロ級で宿願の世界王座を手にした。一九八九年の初出場と確実な力をつけての世界選手権初制覇となった。

来年四月からは、帝京大生として新しいスタートを切る予定。

●10/8(読売) 増田明美さん、障害者ランナーに「心のたすき」 増田さんは、エイボン女性大賞の受賞。パーティーで、福祉活動が続ける姥山寛代さん(59)と出会ったのがきっかけで「障害者のマラソン教室」を開くようになった。体育の日の十日には、群馬県松井田町に全国から知的障害者、健常者の市民ランナーおよびボランティア等総勢五百人が集い、マラソン大会が行なわれる。大会会長の増田さんも車椅子ランナーの補助役として走るこゝとなつてゐる。「いずれは競技選手を育てるのが夢。人間味豊かなコーチになれたら」と語る。

●11/3(報知) 女子棒高跳びが公式種目に 陸上の特殊種目である女子

の棒高跳びが、三日の浜松リレーカーニバルで、公式種目として初めて開催される。女子の棒高跳びは、国内では昨年の五輪代表選考会でも記録会として行われたが、正式種目として採用されるのは今回が初めて。国際陸連(IAAF)では、先の総会で女子の棒高跳びとハンマー投げの記録を公認することを決定。日本陸連でも同二種目を公認種目として今年二十六日の理事会で機関決定、記録を来年一月一日から公認する。

●11/20(日経) 年間獲得賞金金額グラフが新記録 女子テニスのツアー最終戦、バージニアスリムズ選手権第四日は十八日、当地のマジソンスクエアガーデンでシングルス準々決勝を行い、世界一位のシユテフィ・グラフ(ドイツ)がアマンダ・クツツァー(南ア)を6-1、6-2で下して年間賞金獲得の新記録を達成した。この間、わずか五十三分。

昨年、モニカ・セレシユ(ユーゴスラビア)が記録した男女を通じてテニス史上最高額を一千九百八十五ドル上回る、二百六十二万四千三百三十七ドル(約二億八千三百万円)を獲得した。

●11/26(報知) 日産FCレディース撤退 今期限りで、日産FCレディースが日本女子サッカーリーグから撤退する。日産FCは、第一回全日本女子選手権に優勝したFCジナンを母体として一九八六年に発足した。八九年の第一回日本女子リーグから参加し、五位、四位、五位、七位の成績を残している。現在マレーシアで行われている第九回女子アジアカップに三人の代表を送り込んでいる。撤退は三年ほど前から話題に上っていたが、他のチームが企業で選手を抱える中で、クラブチームでは運営が難しくなってきたのが大きな原因のようだ。

●12/12(朝日) 米にもない? 女子アメフト公式戦開催 女性チームによるアメリカンフットボール公式戦「クイーンボウル93(女王王座決定戦)」が十一日、千葉マリンスタジアムで行われ、第一生命クラブ・レディイコング(東日本)が関西興銀・ワイルドキャッチ(西日本)を8-0で破った。三年目の今年、これまでの交流試合から日本協会公認の「ボウルゲーム」として、日本社会人協会が主催する公認試合に昇格。第一生命は初代の「公認」クイ

ーンに輝いた。「王座決定戦」といっても、国内に現存する女子チームはこの二チームだけ。本場の米国にもおそろくないでしょう。世界唯一で初の女性の正式な試合かもしれません」と日本社会人協会の半田裕常務理事。

●12/12(報知) 米国で女子プロ野球チーム結成 米プロ野球、マイナーリーグのウインター・ミーティングで十日、来季から女子プロ野球チーム「コロラド・シルバールイツ」が結成され、一Aのインディペンデント・ノーザン・リーグ試合を行うと発表した。映画「ブリテイ・リーグ」で紹介されたように米国では第二次大戦中に女子リーグが結成されていたが、プロ野球で男子と試合するのは初めて。

●12/20(朝日) 日本初の女性アクロバット飛行チーム誕生 第九回関東学生グライダー競技会で、日本初の女性グライダー・アクロバットチームがデビューした。特許庁審査官の鐘尾みや子さん(44) 神奈川県相模原市とへり操縦士桜井玲子さん(31) 東京都大田区。ともに十年以上のグライダー歴があり、昨年から本格的なアクロバット訓練を続けてきた。